

はじめに

校長 泉田 一美

今日、我が国の教育は、多様で変化の激しい社会を生き抜く力の養成が求められ、その力は一層重要性を増しています。そのような状況の中、各学校では、学習指導要領の理念である「生きる力」をはぐくむ創意ある教育活動を展開し、教育の質的改善に取り組んでいるところです。本校においても、児童や地域の実態・特性を生かした教育活動を推進し、児童の確かな成長を通して、教育成果を示していく必要性を感じています。

本校は、昨年度から、算数科を中心にして「考える力」を高めるための研修を進めて参りました。1年目は、学習過程の「つかむ」「追究する」過程において、既習事項を活用した算数的活動の場の工夫に取り組みました。その結果、児童は、解決への意欲や見通しがもてたり、少しずつ自分の考えを整理して図や式に表したりできるようになりました。しかし、積極的に図や式、言葉を使わなかったり、表し方が分からず使えなかったりして、考えや説明の不十分さ見受けられるという、課題も残されました。

そこで、今年度は、自力解決や交流の場面で、言葉や式、図などを活用する場面を意図的に設定することで、そのよさに気付いて、積極的に活用し、自分の考えを分かりやすく表現する力を身に付けさせたいと考え、実践研究してきました。

その結果、言葉や式、数直線などを積極的に使って問題を解くようになり、自分の考えや友達の考えを分かりやすく、順序立てて説明できる児童が増えきたという成果を得ることができました。

また、授業実践事例集の作成や全国学力・学習状況調査とC R T学力調査の詳細な分析等、職員が積極的に行い、授業改善に取り組んできました。一人1研究授業においても全員で事前事後の検討会・研究会を行いました。活発に、建設的な意見を述べ合っている様子が多く見られ、お互いの指導力の向上を図っていました。これからも質の高い授業を日々実践し、児童に確かな学力を身に付けていけるよう校内研修を充実させていきたいと考えています。

最後に、本校の研修の充実に向け、ご指導くださいました館林市教育委員会の先生方に心より感謝申しあげ、はじめのあいさつとさせていただきます。

